

みずほCustomer Desk Report 2018/02/13号(As of 2018/02/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	108.80	1.2253	133.25	1.3824	0.7819
SYD-NY High	108.94	1.2298	133.65	1.3876	0.7863
SYD-NY Low	108.44	1.2235	132.92	1.3798	0.7807
NY 5:00 PM	108.66	1.2293	133.52	1.3839	0.7863
NY DOW	24,601.27	410.37	日本2年債	-	-
NASDAQ	6,981.96	107.47	日本10年債	-	-
S&P	2,656.00	36.45	米国2年債	2.0753	0.41bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.5561	1.36bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.8576	0.18bp
シカゴ日経先物	21,660	365.00	独10年債	0.7555	1.20bp
ロンドンFT	7,177.06	84.63	英10年債	1.5990	2.80bp
DAX	12,282.77	175.29	豪10年債	2.8875	5.00bp
ハンセン指数	29,459.63	▲ 47.79	USDJPY 1M Vol	9.10	▲1.10%
上海総合	3,154.13	24.27	USDJPY 3M Vol	9.13	▲0.70%
NY金	1,326.40	10.70	USDJPY 6M Vol	9.08	▲0.58%
WTI	59.29	0.09	USDJPY 1M 25RR	-2.13	Yen Call Over
CRB指数	189.08	0.57	EURJPY 3M Vol	10.35	▲0.51%
ドルインデックス	90.15	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	10.15	▲0.49%

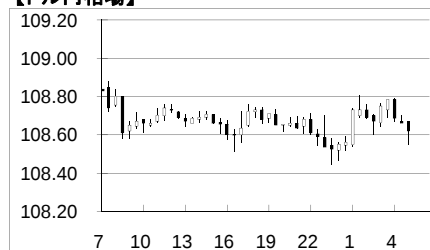
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月12日	-	日	建国記念日	-

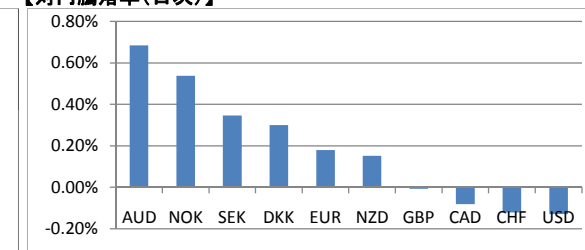
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月13日	18:30	英 PPI/GPI (前年比)	1月 3.0%/2.9%	3.3%/3.0%
	22:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.40-109.40	1.2250-1.2350	133.00-134.00

【マーケット・インプレッション】

ドル円相場は先週末金曜日こそ米株下落に連れて108.05円まで下落したものの、週明け月曜日はやや落ち着いた動きを取り戻し108円台半ばで小幅レンジ推移となった。本日のドル円は堅調推移を予想。昨日は株式市場を中心にリスクセンチメントは改善している印象でリスクオフの円買いとはなり難いだろう。一方で米金利は高値圏で推移していることから、日米金利差に注目されたドル買いが優勢となり易いと予想。

東京	シドニーオープン後に一時高値となる108.94をつけた後、アジア時間のドル円は108.80レベルでオープン。東京市場が休場で市場参加者が少ない状況に加え、NY時間にはトランプ米大統領による今後10年間で最低1兆5千億ドル規模のインフラ投資計画の詳細発表を控え、様子見ムードから方向感に乏しい展開。結局、アジア時間帯の値幅はわずか22銭にとどまり、108.71レベルにて海外市場に渡った。(香港14:30)
ロンドン	ロンドン市場は全般的に動意薄となった。ドル円は108.71レベルでオープン。主な指標の発表等もなく、小動きの展開が継続し108.65レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドル1.3859レベルでオープン。英中央銀行のアンディ・ホールデンチーフエコノミストが「我々はインフレに対処するため、再び政策金利を引き上げる必要があるが、積極的には行わない」と述べたと一部報道された。これを受け1.3825まで下落したものの、その後は同氏がもともとハ派で知られているためか、または5月の利上げが確定的と見る市場参加者が多いためか、下値は限定的となり高値1.3876まで反発。1.3835レベルにてニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドンフリー 西海)
ニューヨーク	東京休場に伴い、海外市場は108円台後半での小動きに終始したドル円は108.65レベルでNYオープン。朝方は先物主導で米金利が低下する動きや、高値で寄り付いたダウがマクナクス圏に沈む動きを横目に安値108.44まで下落。しかし、米金利が上昇に転じ、ダウも先週末対比500ポイント超上昇する動きを好感し、クロス円にサポートされながらドル円は108.81まで上昇。2019年会計年度(18年10月~19年9月)の予算教書やトランプ氏の演説に対する反応は限定的となり、終盤は108円台後半で方向感なく推移し、108.66レベルでクロスした。なお、本日公表された予算教書では、軍事費やインフラ整備、移民対策に伴う支出が増加しており、19年度に財政赤字は9840億ドルに拡大。また、連邦債務残高は2028年に29兆9000億ドルに膨らむ見込みとなっている。インフラ整備については10年間で2000億ドルを投じる提案がされた。予算教書で公表されたCPI見通しは18年2.1%、19年2.0%、20年2.2%、Longer run 2.3%、米長期金利見通しは18年2.6%、19年3.1%、20年3.4%、経済成長見通しは18年3.1%、19年3.2%、20年3.1%、であった。一方、ユーロドルは1.2263レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を横目に安値1.2235まで下落したが、堅調な株値を背景にユーロ円と共に1.2297まで上昇し、1.2293レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・西谷